

	ページ	番号	意見等の内容	意見等を踏まえての検討結果・対応案
①	1	1-1-1-5	一時預かり事業について、延べ利用児童数のみで利用児童数の表記がないのは解りにくいです。ショートステイ事業と同じように表記するのはどうでしょうか。	【子育て支援課】事業計画書における利用見込みが延べ利用児童数となっており、実利用児童数は把握しておりません。委員のご意見を踏まえ、実施保育園等から実利用児童数も併せて報告していただくよう調整いたします。
②	3	1-1-2-4	つどいの広場事業について、コロナ対策で利用希望に添えず、利用見込みが例年に比べ半減していますが、今後もコロナへの対応は続くため、課としての考えを今後の実施方針欄に表明すべきではないでしょうか。	【子育て支援課】令和2年度はつどいの広場の休所中、本庄ケーブルテレビとYou-Tubeで親子遊び等を動画配信しました。引き続き、接触低減に対応した子育て支援の検討と工夫を進めてまいります。」を追記します。
③	15	4-4-1-3	上記と同様に、市立中学校開放講座も今年度の見込み数が大幅に激減しているため、今後もコロナへの対応は続くため、課としての考えを今後の実施方針欄に表明すべきではないでしょうか。	【生涯学習課】「また、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み各学校と調整を図ると共に感染症対策の徹底に努めます。」を追記します。
④	7	2-2-1-6	児童扶養手当について、所得限度額の引き上げの結果なら、少なくとも全部受給者は減少するのではないですか。	【子育て支援課】平成30年12月支給分より全部受給者の所得限度額が19万円から49万円に引き上げられ、所得が49万円未満であれば手当が全額支給される事となったため、全部受給者が増加しています。
⑤	14	4-3-2-7	ふれあい教室の今年度見込み数は表記されますか。	【学校教育課】相談員1名・指導員2名の合計3名を配置し、不登校児童生徒に対し、学校復帰を目指し、生活面や学習面で、きめ細かい個別指導・支援を実施しました。最大で13名が利用し、1名が卒業し、8名が学校に復帰しました。今年度見込み数については、「13」(人)と追記します。
⑥	3	1-1-2-9	すすすくメール配信事業で、メールではなくLINEによる情報発信にすることはできませんか。また、相手から来るだけの一方通行のものではなく、双方で情報の発信と意見を受けることができるような仕組みは作れませんか。	【子育て支援課】LINEによる双方での情報のやりとりについては、個人情報情報保護の観点からセキュリティ対策に万全が期されれば、導入について検証してまいります。
⑦	5	1-2-1-1-9	全般的に自己評価も高く、順調に計画が進められているのが確認できました。「ワークライフバランス~の推進」について著しく評価が低く(新規事業やコロナ禍の影響のため?)今後の課題が窺える良い資料だと思います。	【商工観光課】今後とも各種制度や情報の周知・啓発に努めてまいります。
⑧	1	1-1-1-7	病後児対応型(病児保育事業)の利用がかなり少ないのではないかと考えます。令和3年度以降も事業継続が必要か検討をお願いします。	【保育課】病後児対応型病児保育を実施しているのは市内1カ所のみであり、今後も継続が必要と考えます。広報の仕方に工夫をして周知に努めます。
⑨	16	5-2-1-5	OP16「中学生スクアードストリート交通安全教室」について、市内の4中学校のうち1回を南中のみ実施とありますが、新入生であれば、一度も体験しないこともある。実施回数を増やしていかねばならないのでは?	【危機管理課】「中学生スクアードストリート交通安全教室」は中学校毎に3年に一度開催する予定を立てており、すべての中学生にスクアードストリート交通安全教室を経験していただけるようにスケジュールを調整しております。しかし、学校側の事情により開催できない場合もありますので、その時は翌年に開催数を増やすなど、検討して参りたいと考えております。
⑩	1	1-1-1-8	ファミリー・サポート・センター事業について個人的意見ですが、パンフレットに分かりやすい例文を入れてもらいたいです。(例えば、1つの家庭で子どもが何人利用していかかりました等)	【子育て支援課】ファミリー・サポート・センター事業につきましては、サービスの仕組みをわかりやすく案内できるよう委託先の社会福祉協議会と協議してまいります。
⑪	6	2-1-1-1	【その他】児童虐待防止対策の充実の施策分野において、新規受付対応件数の数が年々増加しているが、今年度は240件と非常に多くなっています。コロナ禍により企業も休業や残業抑制、テレワーク収入や働き方が大きく変化した1年でもあり、児童虐待の機会、相談が増えているのかもしれない。連合埼玉本庄児玉郡市地域協議会としましても、様々な角度から何ができるのか考えていきたいと思います。	【子育て支援課】新規相談対応件数は、年々増加傾向が続いていますが、特に今年度は、新型コロナウイルス感染症対策の自粛によるストレスの増加等もあり、大幅に増加しました。市では、今後共、児童虐待防止と子どもと家庭の支援のため関係機関と連携を強化してまいりたいと考えております。
⑫		その他意見	○資料に表紙や目次を要するのではないのでしょうか?唐突な資料で解りづらい。 (例)会議資料「本庄市子ども子育て支援事業計画実施状況表」 1 地域における子育ての支援 2 子どもに関する専門的な知識及び技術を擁する支援 3 妊娠・出産・育児の切れ目のない支援 4 豊かな心を育む教育環境の整備 5 子どもの安全・安心確保と生活環境の整備	【子育て支援課】委員のご意見を踏まえ、資料に表紙や目次を掲載する等、市民により見やすく工夫をし修正いたします。
⑬		その他意見	制度の周知に努めますという実施方針が多い気がしましたが、具体的にはHPで行うということですか?広報で「市役所では、こんな事業にも取り組んでいます。」というような紹介ページを増やしても良いと思います。	【子育て支援課】制度の周知とは、広くすみやかに市民の皆様へ周知できるよう、お知らせする事業の内容に応じて、HPや広報等を活用して広報することを意味します。紹介ページを増やすご提案につきましては、広報担当課にお伝えします。
⑭		その他意見	【その他】各事業のほとんどの評価がAであるが、これらは事業を実施している行政側の判断だと思う。実際に事業を利用している保護者、運営している現場の方の意見を聞いた、アンケート調査をして、今後の取り組み方針を考える必要があると感じています。	【子育て支援課】実施状況調査表の評価につきましては、事業の進捗状況(指標)に係るもので、事業を実施している担当課の評価となります。 また、事業は継続的に取り組んでいるものであり、利用者や運営施設の職員からの意見聴取やアンケート調査は、子ども子育て支援事業計画を策定する過程や事業の見直し等の必要に応じ、行ってまいります。